

追 加 関 連 論 文（その 2）

（ソルビン酸カルシウム）

追 2 林裕造.長期動物試験による環境化学物質の発がん性評価に関する研究. 昭和 60 年度厚生省がん研究助成金による研究報告書. (1985): 436,438.

． ． ． P1

雌雄の B6C3F1 マウス（各群各 50 匹、対照群各 75 匹）にソルビン酸（0、2.5、5.0% ; 0、3,750、7,500 mg/kg 体重/日）を 106 週間混餌投与し、4 週間後に屠殺した試験において、腫瘍の発生を認めなかった。

追 3 林裕造.長期動物試験による環境化学物質の発がん性評価に関する研究. 昭和 61 年度厚生省がん研究助成金による研究報告書. (1986): 444-446.

． ． ． P3

雌雄の F344 ラット（各群各 55 匹）にソルビン酸（0、2.5、5.0% ; 0、3,750、7,500 mg/kg 体重/日）を混餌投与した試験（投与期間は明記されていない）において、腫瘍の発生を認めなかった。

追 4 林裕造. 発がん性物質の規制決定に関する基礎的研究. 平成元年度厚生省がん研究助成金による研究報告書. (1989): 632,636.

． ． ． P6

追 2、追 3 の最終報告論文である。

B6C3F1 マウス及び F344 ラットを用い、2.5%及び 5.0%の飼料添加による経口投与実験を行い、いずれの動物についてもソルビン酸投与に基づく有意な腫瘍発生はみられなかった。